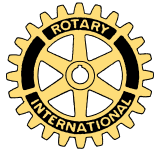


## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL <0566>22-2111  
FAX <0566>25-2111  
メール kariyar@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 鈴木 豊  
幹事 小川 耕示  
会報委員長 丹羽 克誌

2013 ~ 2014年度 国際ロータリー ロンD.バートン 会長テーマ

Engage Rotary Change Lives ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2824回例会プログラム

[当年度=16回目; 当月=4週目]

2013年(平成25年)11月25日(月)

## 1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱……………日も風も星も  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事

## 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告

8. 幹事報告  
9. 出席報告  
10. 委員会報告  
11. ニコニコボックス報告  
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(12/2) ……

卓話 「スウェーデンにおける高齢者の  
医療・福祉と緩和ケア」及び「有  
料老人ホームについて」

講師 株式会社博愛ナーシングヴィラ  
代表取締役社長 宇佐見詞津夫 様  
取締役 小野 雄司 様  
(紹介者 室殿 豊 会員)

(12/9) ……

クラブ総会  
次年度理事・役員選出

## 2. クラブフォーラム……………〈ロータリー財団委員会〉

- 13:00 卓話 「ロータリー財団未来の夢計画について」  
講話 地区補助金委員会  
委員長 櫻井 繁 様  
(名古屋南 RC)  
(紹介者 毛受 豊 会員)

13. 謝辞  
14. 点鐘……………〈会長〉  
15. 閉会宣言

13:30 16. 散会

## 出席席

会員総数 97名 出席免除 27名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名  
欠席 12名 出席率 86.21%  
前々回(11/11)の修正出席率 100%

## 会長報告

- 1) 11月18日に刈谷市役所で開催された刈谷市観光協会の理事会に参加してまいりました。  
2) 11月23日、24日にウェスティンナゴヤキャッスルにて開催された地区大会に参加してまいりました。



## 幹事報告

- 1) 11月19日に平成小学校で開催された学校訪問コンサートに行っておりました。11月27日、東刈谷小学校が本事業のラストコンサートになります。  
2) 吉原孝彦会員がロータリー財団月間の卓話で大府RCに訪問しバナー交換をしてまいりましたので回覧致します。

## 委員会報告

### ●国際奉仕委員会

- 1) 台風30号によるフィリピンへの支援について  
ガバナー事務所より「台風30号によるフィリピン被災への支援」の依頼が来ておりますのでご協力をお願いします。

## 会長あいさつ

### 岩ヶ池・今昔物語

鈴木 豊



刈谷ハイウェイオアシスの開設以来、子どもたちの広場として親しまれている岩ヶ池。

私たちが遊んだ昭和30～40年ころと、もっとも様が変わりした風景かも知れません。

岩ヶ池ができたのは、鎌倉時代。この地方で最初の溜池と言われます。

それから800年、豊かな水を湛えた池は、東境の農業や暮らしを支えてきました。

子どもの頃は「オイケ（大池）」と呼ばれ、夏は水泳場として解放され、冬は鴨猟が行われ、1つの風物詩となっていました。

この鴨猟の歴史は古く、江戸時代中期のころ、大量の鴨が飛来。夜間、餌を求めて近隣の田や沼池へ行き、翌朝明け頃に帰ってくるため、農作物に大きな被害を出していました。

被害にたえかねた住民が、時の領主に願い出て狩猟の許可を得て始められました。

当時の捕獲数量は年平均鴨大小で300羽、雁15羽。明治の最盛期には、大鴨907羽、あし鴨2436羽、小鴨120羽、合計3463羽捕獲したという記録があるそうです。

収穫が終わる季節の地域の会合やお寺の行事などの「お日待」の席で、鴨料理が出されました。子ども心にも鴨肉を食べることがうれしく、親に付いていったものです。しかし、都市化の進展とともに鴨の飛来が減少し、昭和40年代中頃から鴨猟も見られなくなりました。

また、岩ヶ池のほとりにたたずむ島を、地元の人々は蛇島と呼び、古くから信仰の対象としてきました。島には、弁天様が祀られ、神の使いである白蛇が生息し、池と人々の暮らしを守ってきたと言われます。

いま、オアシスから見る岩ヶ池は、美しく整備されています。数年前までは人が立ち入ることを拒否するような樹木に包まれ、神秘性を秘めた池。数々の伝説と共存した暮らしを感じさせる佇まいが印象的でした。

## クラブフォーラム

### 「ロータリー財団未来の夢計画について」

地区補助金委員会

委員長 櫻井 繁 様



#### 卓話内容

- 1 ロータリー財団の活動について
- 2 寄付金の種類について
- 3 地区補助金について
- 4 グローバル補助金について

#### ロータリー財団の全般説明

- 1 ロータリー財団の歴史  
1905年 シカゴロータリークラブ誕生  
1917年 アーチ C. クランフ RI 会長、「世界で良いことをするために」基金設置  
1928年 「ロータリー財団」として国際ロータリー内の新しい組織となる  
2010年 未来の夢計画 3年間のパイロット期間開始（当地区もパイロット地区に指定）  
2013年 未来の夢計画 世界展開  
2017年 ロータリー財団創立100周年にむけて大改革

- 2 ロータリー財団の活動  
財団の使命・標語 「世界でよいことをしよう」  
財団のプログラム  
「教育的プログラム」「人道的プログラム」「ポリオ・プラスプログラム」  
財団の2つの活動  
1 財団活動のエネルギーとなる寄付金を集める委員会  
2 寄付金を活用する委員会

- 3 2013-14 ロータリー財団の目標  
ポリオを撲滅する（End Polio Now）ポリオ撲滅まで「あと少し」である。  
2013年7月より全世界で一斉に補助金制度が実施（ロータリー未来の夢計画）  
財団の教育プログラムと人道的プログラムへの参加を通じて、地域社会や世界に貢献する。  
ロータリー財団への寄付を全ロータリアンにお願いする未来の夢計画  
・①プログラムと運営の簡素化  
・②グローバル補助金事業と地区補助金事業を提供  
・③意思決定権を地区に移行する事で、R財団が自分たちの物である事を自覚する事

#### 改善点

- \* 地区・クラブの裁量が増した
- \* 地区資金の増額し奉仕活動額が増額された
- \* 結果として年次寄付・恒久基金の増額
- \* ロータリアンのクラブ意識・社会奉仕意識が高揚

#### 4 地区補助金について

海外・地元を問わず比較的小さな教育的活動や人道的活動を支援する。

補助金50%未満 クラブ拠出金 50%以上の事業  
2013-14年度（田中年度）

83クラブ中52クラブが申請 内

少年育成事業が15件

補助金総額 183,192\$

#### ■支給補助金額の計算式

補助金資金総額×（クラブ申請補助金額÷地区申請  
補助総金額）  
×補正貢献額（0.8～1.2）  
×2013年8月度ロータリーレート

#### 5 グローバル補助金について

主な奉仕活動（職業研修チーム・奨学生・人道的・教育的奉仕活動）

- ① 6つの重点分野にあてはまる事業
- ② 3万ドル以上の事業…高額・大規模な奉仕活動
- ③ 持続可能で測定可能な事業が必要要件
- ④ 「授与と受託の条件」を満たしている事業

#### 6 地区補助金の新ルール

- ① 請受付期間の変更 11月1日～2月末日
- ② 事業実施終了月3月末日にする。
- ③ 最終報告書提出期間の徹底
- ④ 最終報告書の決算資料に決算書と予算書を併記する。